

林務部改革プロジェクトチーム

活動報告

佐久地域振興局	林産係	黒坂 恭平
佐久地域振興局	林務係	金子 奈々
上伊那地域振興局	林務係	小沢 真代
上伊那地域振興局	治山係	塚原 和人
上伊那地域振興局	林産係	中野 遥
南信州地域振興局	治山第二係	武田 菜那
南信州地域振興局	林道係	貞末 愛可
北アルプス地域振興局	治山林道係	小池 直樹
北信地域振興局	林務係	三浦 真澄
森林政策課	企画係	今井 翔
森林政策課	専門指導班	松山 智矢
信州の木活用課	林業経営支援係	増井 僚
森林づくり推進課	県営林係	神津 衣来
		計13名

林務部改革プロジェクトチームの活動経過

意欲ある若手職員13名により、明るく、前向きに活動してきました。

回数	日時・場所	内容	PTメンバー参加者
第1回	R2.6.12 (月) 13:30~16:00 テレビ会議システムにより開催	<ul style="list-style-type: none">顔合わせ今年度の活動方針について	12名
第2回	R2.7.29 (火) 10:30~16:00 県庁 議会棟401号会議室	<ul style="list-style-type: none">ツイッターオープンミーティングの開催に向けた検討	8名
研修会	R2.8.5 (水) 14:30~17:00 大北森林組合 会議室 ほか	<ul style="list-style-type: none">スマート林業研修会 (大北森林組合と合同で開催)	2名 (全参加者3名)
オープンミーティング	R2.8.31 (月) 15:00~17:00 Web会議システムにより開催	<ul style="list-style-type: none">ツイッターオープンミーティング	8名 (全参加者18名)
第3回	R3.1.19 (火) 10:00~12:00 Web会議システムにより開催	<ul style="list-style-type: none">林務部コンプライアンス行動計画について地域の事業者が抱える課題等について	9名

行動計画について（第3回P T）

・行動計画について思うことを事前にメンバーにアンケートをとり、その内容についてみんなで議論をしました。

メンバーからは、「**計画に時間をかけすぎていないか**」、「**計画が形だけのものになっていないか**」といった声が出てきました。

【アンケート結果から（抜粋）】

- P D C AのPに労力が掛かりすぎ。**D C Aに比重を割いた運営**などの工夫が必要では
- 計画を**どのように実践**していくかが一番の課題。取組内容が形だけのものになったり、取組が仕事のための仕事になってしまわないか
- そもそも**ビジョンが浸透しきれていない**ので行動計画が他人事として捉えられてしまうのではないか
- **進捗管理表が単なるノルマ表**と化していないか
- 日々の業務に追われてしまい、取組項目にある**進捗管理表を活用できていない** 等



Webによる開催

地域の事業体が抱える課題等について（第3回PT）

メンバーが、日頃、事業体と接している中で感じていることや思っていることを話し合いました。

若手の目線で感じたことをぜひ、林務部全体で共有してもらい課題解決のきっかけにしてほしいと思います。

→アンケート結果について、部内の全所属に共有をしました。

【アンケート結果から（抜粋）】

- 森林組合、事業体を通じて儲けることに対して意欲は低いように感じます。儲かっても儲かったと言いたがらない言いづらい環境では、経営上の変化も起こしづらく、社会状況にあわせて変化が求められる時代において非常に課題と感じます。
- 定着率を上げられたらと思います。確保できている事業体は現に存在するため、どの事業体も無理な話ではないと思いました。特に、労働安全を意識している事業体（機械化の推進、防護具・チェーンソー等全て会社から支給等）は定着率が良いように感じる
- 新入職員からいきなり現場管理を一人で任されることも多いのか、同じ組合内の職員へ相談や情報共有がしにくそうと感じたことがあります。
- 治山の森林整備事業をとある森林組合が請け負った際、書類づくりがアナログで驚いた。
- 新たな技術も進歩しているなかで技術を習得、利用できるよう、県としても支援等していく必要があると思う など